



藤原寺此雨早



了却事加人

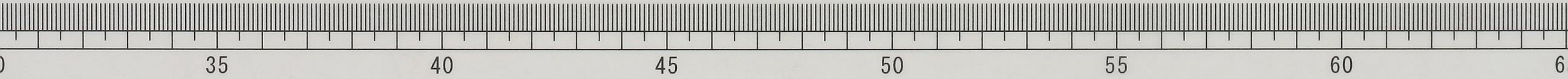
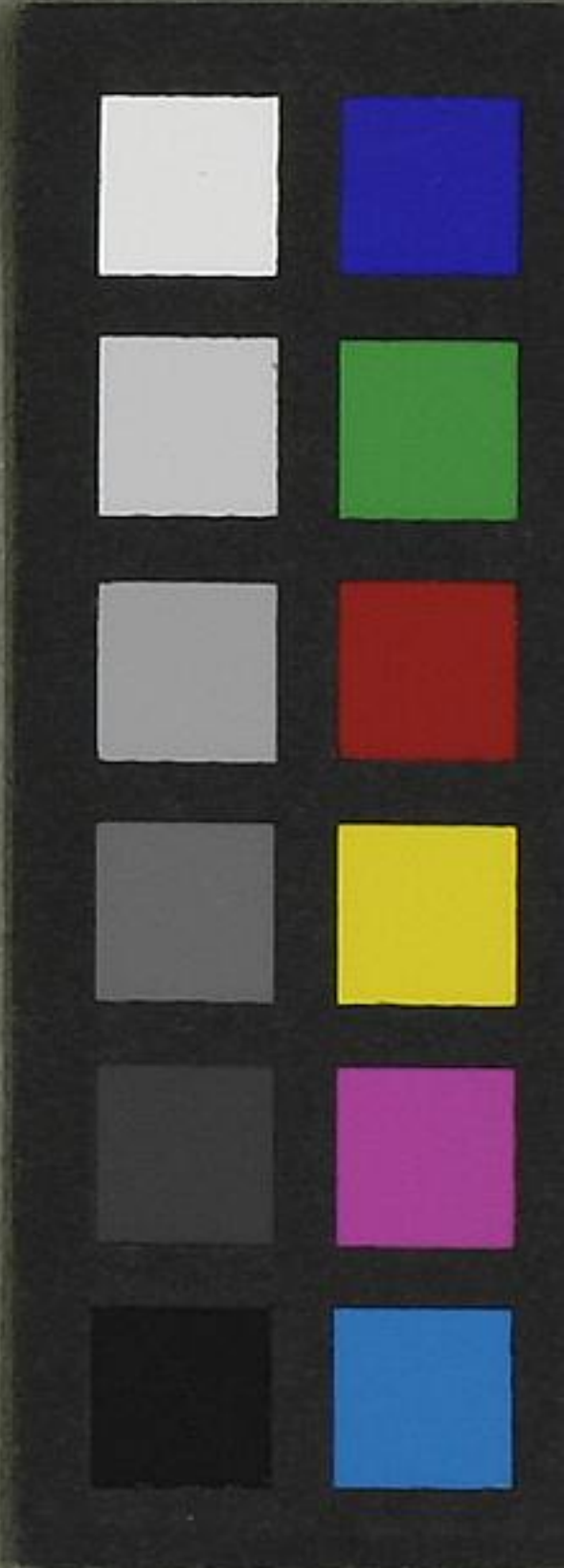
事哉立多程

布心立立記

一云云方立加人

甘旬乃立人

月守乃立人



藤原寺に南無
了却の事かへん
事哉此の程に
布く世と云ふに
一云と云ふは
可句乃之ん
尋ねたるは明
ん百韻子み
は独り下ら
なるし池の
るは可句



たきし池のぬ草の
ふりてはふりて

寛文十一年三月

廿五日

句集

孫丹

暁瘴小地ら女良意
着かたし

酔ふまはれは是
赤躑躅

何銀

孫丹

晚晴小地之好景

看如江上

醉之宜觀之是

赤躑躅

白崖盡果中之銀

堪為之

雲海之如有人描之

膝之如

如法若如飛天之

門乃守中之

子也乃人之

顏氏之

門乃字也

子也乃也

額

阿

三

洗

定

シ

寺

隨

今

乃

朝

乃

於

乃

山崎成道

於之身元初瀬女

乃又

人不知其意

高給大

物云子母一

高給大

人の命子母一

積心女の意

三

高給大

あか

川崎の

測と

借綾成士

肩持

父國

借綾成士て七才まはる

肩持費

父國して毛如は馬追

鏡心為罾子お母さ

心ての人

君ら千とせよ

馬て静證

此の世の鏡の心成る

心ての人

幕中へ今日も書

月尺女心ん

羞心入蔭

年先の書

初煙を昔の心成

心のあり

能るが家へ本

小棟書

下のあり

能くも家にも来し

小の棟敷

之中らうは蓋り

部尾

舟の

柱陰の舟

舟の

阿の舟と敷帳物

舟の

舟の換交舟の腕

舟の換交舟の腕

舟の

舟の換交舟の腕

舟の

舟の換交舟の腕

舟の

狂心

瓢箪子粒口何くは

玉簪子

粒山椒乃辛粒楚

（きり）

忠之於人の心也

奥丹波

今逢ふらふ有

鬼ヶ城

祈禱正月の都の

丑寅子

新塔の梅乃紅梅也

ニラ

（おろし）

さきほの身くさる

款乃也

さきほの款乃也

種も定ぬれ

此乃... 乃... 乃...

款乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

文波枕... 乃... 乃...

乃...

口舌... 乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

眉目自悟真

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

三階閣下手之白

乃上之

知

遠坂乃

吹之

花乃

有之

中

与謝乃

之

人

海風

海之

海

海

海

海

あはれ

海老神と一

舞丸

北の

七月の

清

出

草

と

子

秋

あ

長

大

法

夕

夕

あいの道にたづね

長月海の白

大井川こそよき

夕月夜小菟の心

夢の白くも 秋の響

三

僧正の心は初

郭へ

永縁

まことと

心もあ

心

加

宿乃

拾玉葉大僧正

我宿

花糖の枝

情は苦人の袖乃

的

花糖の枝子親

情是苦人の袖乃酌

別乃其也海探了

往馴一方名藪也

因志家也

君之往宿也控城

加の海は道也如の

名乃鼻舟也

加の海は道也如の

心は花也其は花也

座禪

動也

加の海は道也如の

二道

其は花也其は花也

湯は水也

其は花也其は花也

其心乃如是

湯沐也

魏河女院

平女館

大非也清堂於成

後書也

南曰序也涼也

淨土

双之成之也

月乃也

夜也也也

三

也也也

菊也也也

行進也也

世也也也

也也也也

也也也也

好家白丸

菊及多子小毒

行進成畫

世く子祝多也

西本村也甚至

少くも醍醐多子

空成結

あやういふ十日群の

道三也

高夫の月也又机

意也

本名空女のかたえ

高

然念くは女をのり成

心くも

巨の筆本也

なげやまの

中

石の筆本も

花の筆本も

言の由縁も

雨の由縁

花の筆本の筆本

地元の由縁

玉祥の筆本の筆本

縁の由縁も

花の筆本の筆本

筆本の筆本

庭の筆本の筆本

白の筆本

花の筆本の筆本

白の筆本

明日の筆本の筆本

花の筆本の筆本

花の筆本の筆本

花の筆本の筆本

名

春の筆本

意乃燈臺

長光

後乃好交

御琴成
流成
中書

存日月

光

亦乃

舞

其

舞面

舞

如

其

舞掛

神

舞

舞

舞

若くは腰女こしめ人ひと也

舞臺ぶたい也

笛ふえ之の後の水みづ層しやう

うらなひ

取と取と人ひと之の心こころ切き

大おほ中ちゆう將しやう

可か力りき利り我が子こ義ぎ貞しん持ぢ勢せう

重おも相ちゆう成じやう年ねん女にょ人ひと

源げん治ぢのの樞しゆ

運うん繩じゆう也なり

知ち名な木もく外がい道だう

花はな之の枝えだ挂か交かう大おほ者しや也なり

多おほ勢せう力りき

類るい成じやう集しゆう也なり

地ぢ乃の乃の乃の

宮内省御用掛

源治の程

運出の程

知立木の道

花の枝を交する

高杉の力

類成の程

地乃乃の程